

## 「国連食料システムサミット 2021」に対する国際協同組合同盟（ICA）の提言に向けた 日本協同組合連携機構（JCA）からの提案

国際協同組合同盟（ICA）が「国連食料システムサミット 2021」に対する提言を行うにあたり、日本協同組合連携機構（JCA）から下記の案を 2021 年 3 月 31 日に ICA に提案しました。

### 1. 質（栄養）・量（供給）両面にわたる食料安全保障

～全ての人に安全で栄養価の高い食料へのアクセスを確保

- ・ コロナ禍により食料安全保障リスクが顕在化したことに留意し、各国政府は、中小・家族経営も含めた多様な経営体の育成による食料自給率の向上や国内生産の増大、あらゆる事態にも安定供給可能な強靱なサプライチェーンの構築など食料安全保障を柱とする基本政策を確立・推進していくことが重要です。
- ・ 生産者や消費者によって、より良い社会を築くために組織された協同組合は、持続可能な食料生産から消費に至るサプライチェーンにおける食料の安定供給に貢献します。
- ・ 協同組合は、規模が小さく単独では立場が弱い生産者・消費者・労働者が協同することで、生産手段や販売手段の共有化、大規模な資本との価格や条件の交渉、仕事起こしなどを通じて、経済の健全な発展に寄与し、飢餓の撲滅と人々の生活向上に役割を發揮します。

### 2. 食料消費の持続可能性

～持続可能な消費パターンへの移行

- ・ 食品ロスを 2030 年までに半減すべく各国政府は目標を設定することが重要です。
- ・ 協同組合は、温室効果ガスの排出も少ない健康的な食生活を達成するために、その土地の風土や自然環境に根差し、持続可能な食料システムに適合的である伝統食や地産地消による「持続可能な食」の提供を推進します。
- ・ 食と農林漁業を基軸として地域に根ざす協同組合は、消費者・実需者ニーズや環境上のニーズを踏まえ、持続可能な食料の生産と環境と調和した農林水産業の振興及びフードシステムの構築をすすめます。
- ・ 協同組合は、消費者への啓発を含め、フードチェーン全体で食品ロスの削減に向けた取り組みを進めます。
- ・ 協同組合は、各国政府・自治体および NPO などと取り組むフードバンク・フードドライブ等を通じ、生活困窮者への支援、食料の偏在の是正と食品ロスの削減に貢献します。

- ・ 協同組合は、産直・農林漁業体験・地産地消 など協同組合間の連携した取り組みにより、消費者と農林漁業者・食品関連事業者との交流を進めるとともに、食生活の多様化や世代の特性等も踏まえながら多様な関係者が協働した食育の取り組みをすすめます。
- ・ 生産者と消費者が参加する協同組合は、国内だけでなく国際的なサプライチェーンにおける環境や社会に対する影響に配慮した「エシカル消費」を推進します。

### 3. 環境に調和した農業の推進

～自然に対してポジティブな生産を十分な規模で促進

- ・ 協同組合は、有機資源の循環利用やスマート農業の活用等によって、地域条件に即した化学肥料・農薬の使用によるリスクを削減します。
- ・ 各国政府は、最新の科学的知見によるリスク評価に基づき、農薬の登録や使用の管理枠組みについて、国際的な調和をはかることが重要です。
- ・ 協同組合は、持続可能な水産資源や森林の管理を含め、環境と調和した農林水産業の確立をめざします。
- ・ 各国政府は、持続可能な食料システムの担い手として大きな役割を果たす協同組合をはじめ、幅広い関係者との十分な協議を行いつつ、関係者が持続的に取り組むことができるような政策支援を講じることが重要です。

### 4. 農村地域の収入確保

～公平な生計と価値の分配の促進

- ・ 各国政府は、食料システムの構築にあたって、協同組合を重要なパートナーとして位置付けることが重要です。
- ・ 各国政府は、新技術導入や地場産業活性化、女性や若者の意思決定やビジネスへの参画を促す政策を講じ、農山漁村の活性化や地域格差の解消に取り組むことが重要です。
- ・ 協同組合は、協同組合原則にもとづき、協同組合間や多様な関係者との連携のもと、各地域のニーズや実情を踏まえた地域社会の持続可能な開発を推進しています。
- ・ 協同組合は、協同組合原則である自主的で開かれた組合員制のもと、地域社会・経済への女性や若者の参画に貢献し、協同することの価値を若い世代へ継承します。
- ・ 協同組合は、家族農業・小規模生産者を含む多様な生産者が協同し、協同組合や多様な関係者と連携することにより、農山漁村での仕事の創出 と生計の安定をはかります。
- ・ 協同組合は、農山漁村の生産者と都市部の消費者とをつなぎ、相互理解と積極的に交流することにより地域の活性化に 貢献します。

### 5. 食料システムの強靱化

## ～脆弱性、ショック及びストレスに対する強靱性の構築

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、グローバル化のもとでの生産・流通への影響が生じていることから、各国政府は、協同組合等と連携し、国内生産基盤やフードサプライチェーンを強化することが重要です。
- ・ 協同組合は、生産者・消費者・労働者の組織化や、組織化のための人材育成を通じて、強靱な食料システム構築に貢献します。
- ・ 協同組合は、人を中心におく組織として、大規模自然災害や紛争による被害からの復興に貢献します。

以上